

070 種と毒麦のたとえ

マルコによる福音書 4 : 26～29、マタイによる福音書 13 : 24～30、マタイによる福音書 13 : 36～43

▶「成長する種」のたとえ(マルコによる福音書 4:26～29)

26 また、イエスは言われた。

「**神の国** (→神の支配) は次のようなものである (→LB: 神の国のたとえを、もう一つ話しましょう)。人が土に種を蒔いて、27 夜昼、寝起きしているうちに、種は芽を出して成長するが、**どうしてそうなるのか、その人は知らない**。28 **土はひとり**で (→オートマトス: ギリシア語、口語訳・聖書協会共同訳: おのずから、新改訳: 人手によらず) **実を結ばせるのであり、まず茎、次に穂、そしてその穂には豊かな実ができる** (→LB: まず芽が出て、次に穂、そして最後に穂の中に実が入ります。)。29 **実が熟すと、早速、鎌を入れる。収穫の時** (=世の終わりの時) **が来たからである**。」

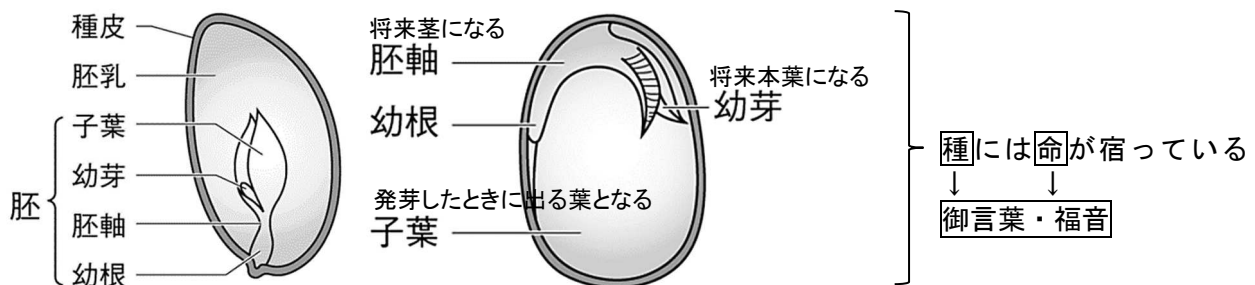
→イエスは①個人的な種蒔きから始めることを提唱 (個人的救いと成長は、御言葉の種を蒔くことから始まる) した。そして、②結果 (生長、成長) は神に委ねると教えた。

→コリントの信徒への手紙一 3 : 6～8

①私 (パウロ) が植え、アポロが水を注ぎました (→パウロはコリントの教会を開拓し、アポロはその成長を助けた)。しかし、②成長させてくださったのは神です。ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神なのです。植える者と水を注ぐ者は一つですが、それぞれが働きに応じて自分の報酬を受けます。

→アポロは、ユダヤ人が多く住んでいたエジプトの大都市アレクサンドリアで育ち、聖書を熟知していた。→使徒言行録 18 : 24、26、27、19 : 1、コリント信徒への手紙一 1 : 12、3 : 4～6、22、4 : 6、16 : 12、テトスへの手紙 3 : 13

【参考】種 (=種子→左図: 有胚乳種子 / 右図: 無胚乳種子)



有胚乳種子 (左図): 胚乳が発達する→カキ、イネのなかま (ムギ・アワ・ヒエ等)、とうもろこし等
栄養分が蓄えられている胚乳が種子の大部分をしめ、胚の部分小さい。

無胚乳種子 (右図): 子葉が発達する→インゲンマメ等 (多種類)。種子の大部分は子葉が占めている。

▶「毒麦」のたとえ(マタイによる福音書 13:24～30)

24 イエスは、別のたとえを持ち出して言われた (→LB: イエスは、別のたとえ話もなさいました)。

「**天の国は次のようにたとえられる**。ある人が良い種を畑に蒔いた。25 人々が眠っている間に、敵が来て、麦の中に毒麦を蒔いて行った。26 芽が出て、実ってみると、毒麦も現れた。27 僕たちが主人のところに来て言った。『だんなさま、畑には良い種をお蒔きになったではありませんか。どこから毒麦が入ったのでしょうか。』28 主人は、『敵の仕業だ』と言った。そこで、僕たちが、『では、行って抜き集めておきましょうか』と言うと、29 主人は言った。『いや、毒麦を集めるとき、麦まで一緒に抜くかもしれない。30 刈り入れまで、両方とも育つままにしておきなさい。刈り入れの時、(麦と毒麦との違いはすぐに分かるので) 「まず毒麦を集め、焼くために束にし、麦の方は集めて倉に入れなさい」と、刈り取る者に言いつけよう。』」

→毒麦自体は毒はないが、麦に混入すると苦くなる。

▶「毒麦」のたとえの説明(マタイによる福音書 13:36~43)

それから、イエスは群衆を後に残して家にお入りになった。すると、弟子たちがそばに寄って来て、「畑の毒麦のたとえを説明してください」と言った。

37 イエスはお答えになった。

「良い種を蒔く者は人の子、38 畑は世界、良い種は御国の子ら、毒麦は悪い者の子ら (→㊦麦[真の信者]に一見似ていて区別が難しいが、実は異なる偽の信者たちで、未信者のことではない) **である。**

39 毒麦を蒔いた敵は悪魔 (→偽の福音の種を蒔き、隠れて偽の信者を育てる)、刈り入れは世の終わり (=終末の裁き) のことで、刈り入れる者は天使たちである。

40 **だから、毒麦が集められて火で焼かれるように、世の終わりにもそうなるのだ。人の子は天使たちを遣わし、つまずきとなるものすべてと不法を行う者どもを自分の国から集めさせ、42 燃え盛る炉の中に投げ込ませるのである。彼らは、そこで泣きわめいて歯ざしりするだろう。**

43 **そのとき、正しい人々はその父の国で太陽のように輝く。耳のある者は聞きなさい。」**

→世の終わり=最後の審判の日。マタイによる福音書では、神が忠実な者と不忠実な者とをより分ける時としている。

【参考】毒麦

単子葉植物イネ科ドクムギ属の一年生植物で、休眠からの覚醒など、生活史がムギ類と同調しているムギ類の擬態雑草、高さは30~80cm。初夏に穂をつけ、結実する。ドクムギの混入した飼料を食べると家畜は中毒を起こすが、この毒はドクムギの毒ではなく、ドクムギにつく糸状菌の毒であるとも言われている。



毒麦 the Tares

麦 the Wheat